



蔵の町・須坂の市街地に暮らすM様の土地には、築200年以上の土蔵や大きな枝垂桜など、遺したいものがたくさんありました。古き良きものを活かしながら、それらと調和する新築住宅を建てる。Old と New が互いに価値を高め合うようなM様の家づくりをご覧ください。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.84



須坂市 M様ご家族/ご夫婦2人
※お子さま3人は独立されています
竣工/H28年9月 営業/大沢芽衣
敷地面積/135.71坪 IC/酒井彩也子
延床面積/39.07坪 施工/平澤雄太

新築の住まいが、隣の蔵にとても馴染んでいますね!

パートナーに工房信州の家を選ばれた決め手を教えてください!

ご主人 ありがとうございます。土地の入り口に建つ蔵は文化3年(1806年)の古い建物ですが今となってはできない造りで、壊さず再生したい思いがありました。住まいの建替えと合わせて、**蔵のリノベーションもフォレストさんに依頼**。まず最初に蔵の色を決めて、それに合うように新居もコーディネートしてもらいました。町並みにも調和する美しい建物は、我が家の財産になったと感じています。

ご主人 建替えのタイミングと考えた退職まで二年を切り、勉強がてら住宅公園へ。そこで見学した工房信州の家は、香りや肌触り、**五感で感じる良さ**が印象的でした。ただその時は、高気密高断熱の他メーカーに決めようと思っていたのですが…他社の完成宅を何軒見ても、感性に響くものがない。決めきれずモヤモヤしていた頃、担当の大沢さんに近くの完成内覧会に誘っていただき、そこで改めて「**感性が求めていた家は、これだ!**」と実感。他社の機械ありきの構造に対して、工房信州の家は、風通しを考えた設計やエアコン要らずの夏の暮らし方など、**昔の家の良さを取り入れる点**にも共感。古き良きものの価値を分かっている会社だと感じました。

奥様 室内も**和モダンをテーマ**にまとめてもらいました。特に私が好きな空間は、和室。仕切りの襖すべてが壁に引き込み、毎日長い時間を過ごすリビングと広くなるので、日常使いにも重宝しています。

奥様 メーカー決定までは、主人しか見学に行かなかったんです。主人のセンスを信頼して任せていたので(笑)。その後一緒にバスツアーに参加し、娘と同世代の**若い方が活き活きと頑張っている**姿に好感が持てました。

ご主人 スタッフ皆さんとても親身で、私も関わる場面が多く**一緒に家づくりをしたという感覚**が強くあります。計画やむなく伐採した庭のイチイを玄関取っ手や帽子掛けに再利用してくれ、材の削りは担当の大沢さんが手伝ってくれたことが良い思い出。ステンドグラスや引き子づくりも体験し、昔からものづくりは好きだったなあと思い出しました。今も我が家に少しずつ手を加えて、自分らしく発展させていくことを楽しんでいますよ。



昔からある桐箆をリフォームし、リビングに。古き物の価値を今に活かす、M様の思いが垣間見える。



玄関入って正面に位置する対面キッチンには、縦格子の目隠しが。和の空間を美しく演出し、お気に入りだそう。



担当 大沢芽衣

眺める景色もK様のこだわりの1つ。四季折々に表情を変える庭や山の景色を住まいに取り込み設計です。



存在感あるエンジュの床柱や飯山仏壇を中心に設計した本格和室。美しい雪見障子からは、庭の椿が望める。

Focus on the Owner!!

小布施町出身の日本画家 中島千波さんがお好きで、住まいのあちこちに作品が。飾れる壁や棚を多く設け、楽しみながらレイアウトしているそう。玄関建具のステンドグラスも、中島さんの版画 秋明菊がモチーフのデザイン。

